

## ●活動内容

<b>①定例研究会</b> 第2水曜 10～12時 第1期 4～9月 第2期 10～3月	<b>正会員</b> 入会金 ¥1,000 年会費 ¥5,000 半年会費 ¥3,000 (同一家族2人目からは一人につき+¥1,000)
<b>②ランチ交流会</b> 第2水曜 12時半～ 高槻市内 各自負担	
<b>③DVD学習会</b> 第4水曜 13～15時 (9月・3月は休み) 申込不要・参加自由	<b>④個別相談 ¥5,000</b> <b>賛助会員</b> 一口 ¥2,000
<b>④個別相談</b> 1回60分～ 個々に対応調整します	<b>会員外</b> ①見学 ¥1,000 ④ ¥10,000～
<b>⑤啓発事業</b> ・一般啓発イベント ・講師派遣	講師派遣については事務局にお問い合わせください。

## ●会費

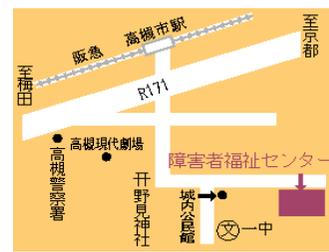
## ●対象

自閉スペクトラム症の成人の方  
 その家族  
 (※診断の有無は問いません)

## ●主な活動場所

**クロスパル高槻**  
 総合市民交流センター  
 高槻市紺屋町1-2

**ゆうあいセンター**  
 高槻市立障がい者福祉センター  
 高槻市城内町1-11



※日程変更の可能性があります。  
 参加ご希望の方は事務局に確認してください。

## ●スタッフ

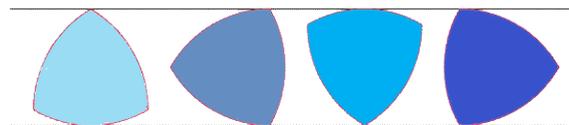
### 植村美栄子

特別支援教育士スーパーバイザー、元高槻市立小学校教諭。市の専門家チーム、府のモデル事業などを経験。幼児から成人まで各年代の自閉症当事者、家族に寄りそう。  
 座右の銘『日蔭に生きる』

### よつばもこ

絵本『学校コワイ』著者。我が子の診断をキッカケに発達障がいを学び、実践・啓発活動が日常的になる。必殺繋ぎ人、幼稚園教諭、保育士、自閉症スペクトラム支援士。  
 座右の銘『ないものは作る』

## ●ルーローって何のこと？



ルーローの三角形は円のように一定の高さで動けます。ドリルになれば正方形に近い穴をあけます。ロータリーエンジンには欠かせない存在です。三角形のまま自分らしく動くルーローの三角形のように、ユニークな存在のまま自分のペースで歩みたいと願いを込めました。

## 成人 ASD 研究会

# 一般社団法人 高槻ルーロー

自閉スペクトラム症の成人の方やその家族が自分らしい生き方を学び合う研究会です

いくら工夫しても努力してもなぜかうまくいかない。周りの人や環境への違和感や生きづらさを感じている方々。

それは「自閉スペクトラム症」の特性ゆえかもしれません。しかもその特性は一人ひとり違います。

自分自身や大切な家族がそれぞれの自分軸をもち自分らしい暮らし方ができるように一緒に研究しましょう。



ホームページ：t-ruro.org  
 事務局：takatukuro2016@gmail.com

## STEP 1

### 悩みを書き出してみる



## STEP 2

### 高槻ルーローに連絡

takatukiruro2016@gmail.com



件名「問い合わせ」・用件・名前・電話番号  
(メールが届かない時に使います)をお知らせください。

見学

入会

ご紹介

医療機関・親の会・  
相談支援機関など

連携

## STEP 3

### 高槻ルーローに参加

### ①定例研究会

会員同士で自分の日常課題に向き合い、一緒に研究。参加者一人ひとりが自分の軸を育てます。

### ②ランチ交流会

わかり合える仲間と出逢い、語り合い、くつろぎのひととき。共感・発散・情報交換でパワー充電!

### ③DVD 学習会

会員外も歓迎

動画を通して自閉スペクトラム症など発達障がいの基礎理解を学び交流します。

(申し込み不要・カンパ制)

### ④個別相談

スタッフ2名で対応。  
他の専門機関とも連携します。

### ⑤啓発事業

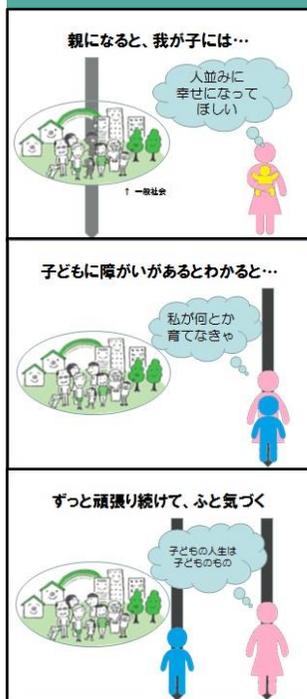
一般啓発イベント

チラシやホームページなどでお知らせします。

講師派遣

メールでお問い合わせください。

### 人生の主軸はどこ?



国や時代や環境に影響を受け、いつの間にか育まれている価値観。

実は価値観は一人ひとり全く違います。

価値観は変化するし、自ら変えることもできます。

この図は一例です。

研究会の中ではそれぞれが自分の主軸、家族の主軸のイメージを図式化し、比べてみようと思います。

# 唯一無二の 自分軸を見つけ 「自分」を生きる

- 社会に合わせるという視点から、当事者視点に切り替えて研究します。
- 会員外も参加自由のオープンなDVD学習会や啓発イベントを開催し、一般の方の理解や寄り添いを広げます。
- 本会の研究内容等を社会に発信していくことで、社会の理解を深め、啓発を進めていきます。